SANGETSU http://www.sangetsu.co.jp

お問い合わせは、お買い上げの販売店または下記事業所へお申しつけください。

●本社／名古屋店
〒451-8575 名古屋市西区幅下1-4-1
TEL.052-564-3111 FAX.052-564-3191

●名古屋ショールーム
〒451-8575 名古屋市西区幅下1-4-1
TEL.052-564-3225 FAX.052-564-3229

●東京店
〒140-8611 東京都品川区東品川3-20-17
TEL.03-3474-1181 FAX.03-3450-5038

●東京ショールーム クレリア
〒107-6003 東京都港区赤坂1-12-32
アーク森ビル3階
TEL.03-3505-3300 FAX.03-3505-5235

●大阪店
〒660-0857 兵庫県尼崎市西向島町111-4
TEL.06-6414-3311 FAX.06-6414-3312

●大阪ショールーム
〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25
ハービスOSAKA4階
TEL.06-6347-9110 FAX.06-6347-9811

●札幌店
〒003-0011 札幌市白石区中央一条2-1-37
TEL.011-832-3111 FAX.011-832-3333

●仙台店
〒984-0031 仙台市若林区六丁目字南98-1
TEL.022-287-3765 FAX.022-287-2995

●岡山店／ショールーム
〒701-0301 岡山県早島町総合流通センター内
TEL.086-292-3300 FAX.086-292-3322

●福岡店
〒812-0892 福岡市博多区東那珂1-11-11
TEL.092-441-5181 FAX.092-441-5191

●福岡ショールーム
〒812-0892 福岡市博多区東那珂1-11-11
TEL.092-441-9500 FAX.092-441-9503

●広島営業所／ショールーム
〒730-0842 広島市中区舟入中町2-28
TEL.082-233-3551 FAX.082-233-3501

SANGETSU

ドラム式　ツインシェード

取扱説明書 NO.SA-DT0909

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
安全にご使用いただくために良くお読みいただき、大切に保管してください。

販売店様・施工業者様へのお願い

本書は、お客様が本製品を適切にご使用いただくための説明・注意事項が記載されております。**必ずお客様にお渡しください。**

目　次

■安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2・3
■ツインシェード
・製品全体図及び各部の名称・・・・・・・・・・・・・・ 4
・付属品・ブラケット寸法図 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
・スタイル・取付けバリエーション ・・・・・・・・・・・ 6
・製品の取付け方法／製品の取外し方法・・・・・・・ 7〜9
■操作方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
■お手入れ方法（幕体の取付け／取外し方法）・・・・・ 10〜13
■幕体の左右高さ調整方法・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
■マーキングについてのおことわり・・・・・・・・・・・・ 14
■梱包材の処理方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

安全上のご注意（必ずお守りください）

※本書は、お買い上げいただいた製品を安全にご使用していただくために特に注意していただくことを表示してあります。取付け前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願い致します。

●本書では、表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ **警告**	製品の取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。
⚠ **注意**	製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

●本書では、お守りいただく内容の種類を次の図記号で区分し説明しています。

⃠ 製品の取扱いにおいて、その行為を「禁止」する記号です。

❗ 製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する記号です。

取付け上のご注意（取付け前に必ずお読みください）

⚠ 警告

⃠ 付属のブラケット取付けネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。

❗ 本製品を取付ける下地の強度や材質を確認し、施工してください。確実に下地に取付けていない場合は落下の原因になります。

❗ 取扱説明書に記載されているブラケット取付け数量と取付け位置は必ずお守りください。本体が落下する恐れがあります。

⚠ 注意

⃠ 本製品は屋内用です。屋外への取付けはしないでください。

⃠ 高温多湿の条件下や水に濡れることが予想される場所へは取付けないでください。

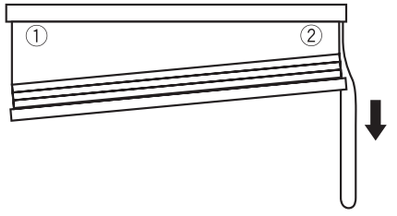
❗ 製品は、水平に取付けてください。

MEMO

幕体の左右高さの調整方法

幕体取付け後、幕体を上げてみて、左右の高さが合っているかどうか確認してください。

合っていない場合は幕体を降ろした状態で、各昇降コードの張り具合が、同じになるよう次の手順で調整を行ってください。



①下がっている側のコードアジャスタに巻いている昇降コードを短めに巻き直してください。

②上がっている側のコードアジャスタに巻いている昇降コードを長めに巻き直してください。

マーキングについてのおことわり

ローマンシェードの一部に縫製加工上のマーキングチャコ(紫色)が残っている場合があります。
これは数日程で消えますが、気になる場合は水をふくませた布でふくと早く消えます。

●マーキングが残っている場合の消し方

❶ 水をつけた布を軽くしぼります。

❷ マーキングの残っている箇所を布で軽くたたくようにして濡らします。

※綿等、縮みやすい素材は濡らしすぎないように注意してください。

❸ マーキングは水とともに蒸発します。

梱包材の処理方法

●梱包材は可燃ゴミと、不燃ゴミに分別して処分してください。
●各自治体により分別基準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。

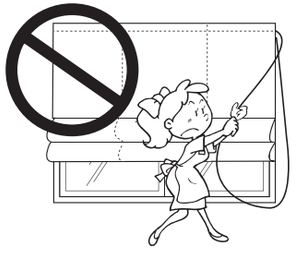
■使用上のご注意 (ご使用前に必ずお読みください)

⚠ 警告

⃠ 操作チェーンが体に巻きついたり、引っかかるようなことをしないでください。事故の恐れがあります。

⃠ 製品に物を吊り下げたりぶら下がったりしないでください。製品が破損したり、落下したりする恐れがあります。

⃠ 急激な操作や無理な操作は、絶対におやめください。製品の落下や、破損の恐れがあります。



⚠ 注意

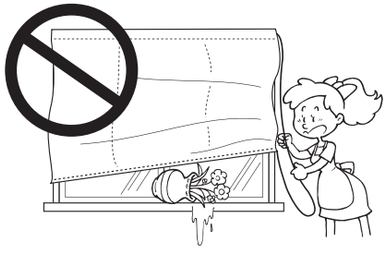
⃠ 強風の時は、必ず窓を閉めるか幕体をたたみ上げた状態にしてください。

⃠ メカ部分の分解や可動部への注油は、破損や故障の原因となりますので絶対におやめください。

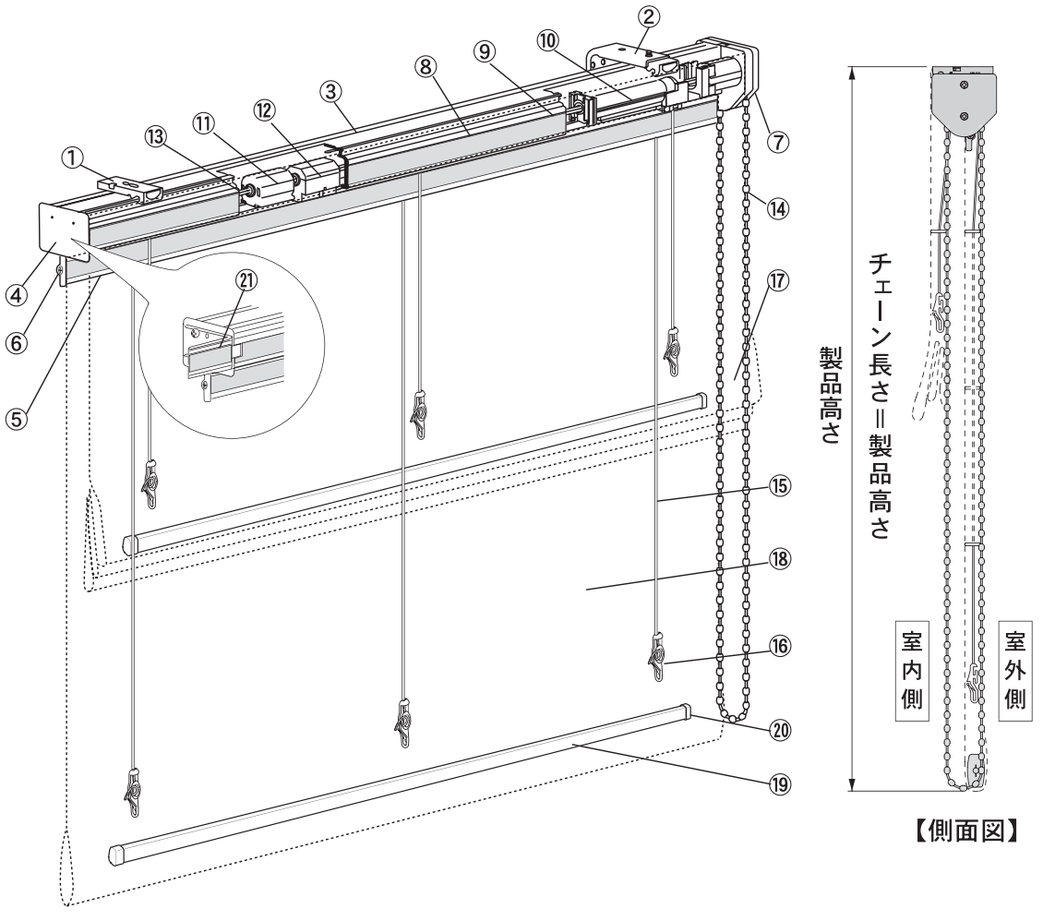
⃠ 火のそばでのご使用は絶対におやめください。

⃠ 必ず操作チェーンを持って操作を行ってください。幕体やウエイトバーを持って操作を行わないでください。

⃠ 昇降動作の範囲内に破損の恐れがある物や操作の障害となる物を置かないでください。



製品全体図及び各部の名称



【側面図】

①取付けブラケット	⑧マジックテープ	⑮昇降コード
②正面付け補助金具	⑨抜け止め（ﾌﾚｰﾑBの裏側）	⑯コードアジャスタ
③フレームA	⑩巻取り部	⑰前幕
④フレームAキャップ	⑪ストッパー	⑱後幕
⑤フレームB	⑫速度調整装置	⑲ウエイトバー
⑥フレームBキャップ	⑬六角シャフト	⑳ウエイトバーキャップ
⑦操作部	⑭操作チェーン	㉑リターン金具（ｵﾌﾟｼｮﾝ）

バルーンスタイルの場合

❶フレームに幕体を取付けてください。

❷リングの小さい方の穴をリングテープのループ部に取付けてください。

❸最下部のループ部へは、コードアジャスタを取付けてください。

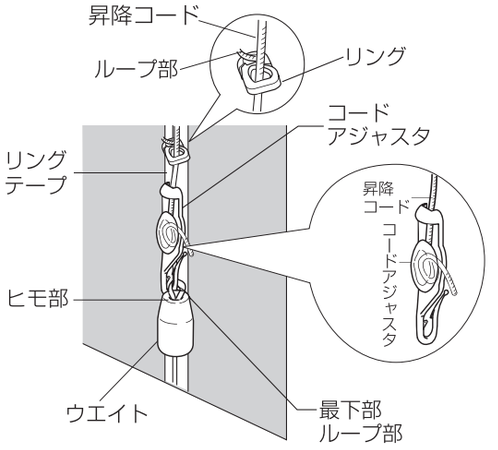
昇降コードをリングの大きい方の穴に通してください。幕体上部から順に通します。

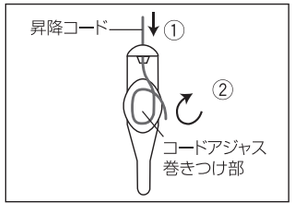
万が一通し忘れた場合には、リングの横の切り込みから昇降コードを入れることもできます。

❹コードアジャスタの上部から昇降コードを通し（①）、固定位置をコードアジャスタ上部に合わせてください。次にコードアジャスタ巻きつけ部（②）に余った昇降コードを2, 3回転巻き付けてください。

※昇降コードの固定位置はもともとコードを巻きつけた所（あるいはペンで印をつけた所）を目安にしてください。

❺ウエイトをコードアジャスタに引っ掛けてください。





幕体の取付け方法

プレーンスタイルの場合

❶ フレームに幕体を取付けてください。

❷ リングの小さい方の穴をリングテープのループに取付けてください。

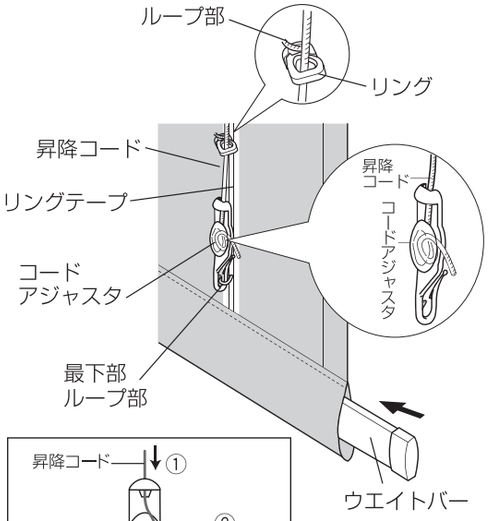
❸ 最下部のループ部へは、コードアジャスタを取付けてください。

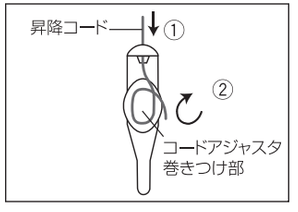
❹ ウエイトバーを幕体に差し込んでください。

❺ 昇降コードをリングの大きい方の穴に通してください。幕体上部から順に通します。万が一、通し忘れた場合には、リングの横の切込みから昇降コードを入れることもできます。

❻ コードアジャスタの上部から昇降コードを通し(①)、固定位置をコードアジャスタ上部に合わせてください。次にコードアジャスタ巻きつけ部(②)に余った昇降コードを2, 3回転巻き付けてください。

※昇降コードの固定位置はもともとコードを巻きつけた所(あるいはペンで印をつけた所)を目安にしてください。





シャープスタイルの場合

❶ フレームに幕体を取付けてください。

❷ コードアジャスタを最下部のシェイパーテープに、シャープリングをシェイパーテープに取付けてください。

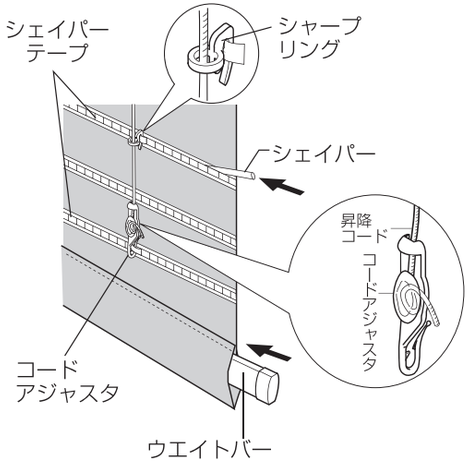
❸ シェイパーをシェイパーテープに差し込んでください。

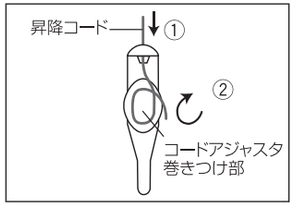
❹ ウエイトバーを幕体に差し込んでください。

❺ 昇降コードをシャープリングに通してください。コードアジャスタの上部から昇降コードを通し(①)、固定位置をコードアジャスタ上部に合わせてください。次にコードアジャスタ巻きつけ部(②)に余った昇降コードを2, 3回転巻き付けてください。

※コードアジャスタ、シャープリングの取付けや、昇降コードを通すときは、あらかじめシェイパーテープに付けた印の位置でおこなうようにしてください。

※昇降コードの固定位置はもともとコードを巻きつけた所(あるいはペンで印をつけた所)を目安にしてください。





付属品

●天井付け用

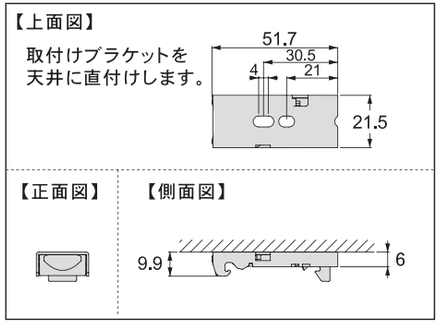
製　品　幅	~1200mm	~2000mm	~3000mm	~4000mm
取付けブラケット	2個	3個	4個	5個
ブラケット取付け用ビス	4個	6個	8個	10個

●正面付け用

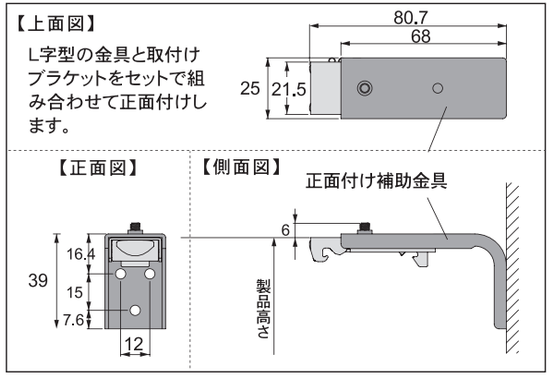
製　品　幅	~1200mm	~2000mm	~3000mm	~4000mm
取付けブラケット	2個	3個	4個	5個
正面付け補助金具	2個	3個	4個	5個
ブラケット取付け用ビス	6個	9個	12個	15個

ブラケット寸法図

●天井付け用　(単位：mm)

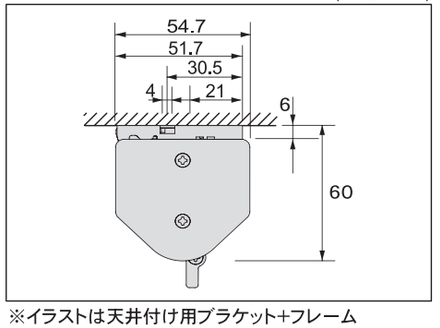


●正面付け用(正面付け補助金具付き)　(単位：mm)



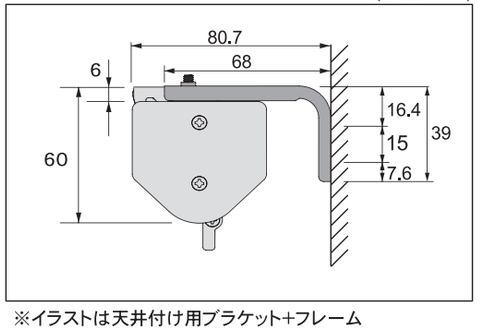
●ブラケット・フレーム納まり図

【天井付け】　(単位：mm)



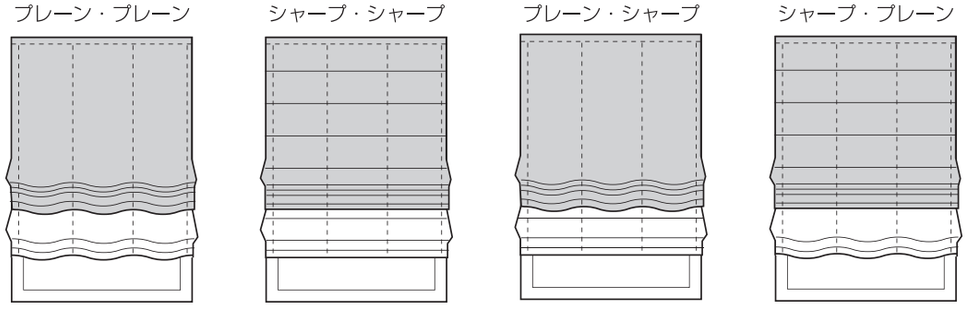
※イラストは天井付け用ブラケット+フレーム

【正面付け】　(単位：mm)



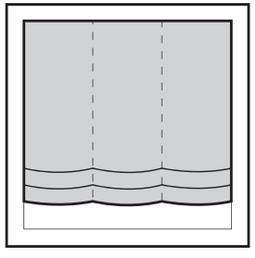
※イラストは天井付け用ブラケット+フレーム
+正面付け補助金具

スタイル

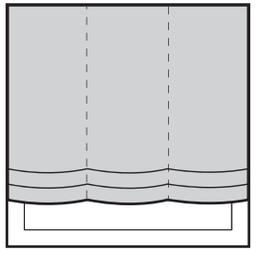


取付けバリエーション

●内付け（天井付け）
窓枠の内側に取付ける方法

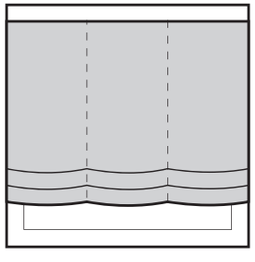


●外付け（正面付け】
窓枠の外側に取付ける方法



※ブラケットの取付けについて
前幕、後幕が同等サイズの仕上りの場合（通常仕様）の取付けとなります。
ブラケットの取付けは、P.7 P.8の天井付け正面付けを参照してください。

●内付け（天井付け）
前幕で窓枠を覆う場合
窓枠の内側に取付ける方法



※ブラケットの取付けについて
この取付けかたは、前幕が窓枠内側より大きく仕上がっている場合のみが対象となります。ブラケットの取付けは、P.7の天井付け（手前の生地で窓枠を覆う場合）を参照してください。

■取付け上のご注意（取付け前に必ずお読みください）

⚠ 警告

- 付属のブラケット取付けネジは木部用です。木部以外には、使用しないでください。
- 本製品を取付ける下地の強度や材質を確認し、施工してください。確実に下地に取付けていない場合は落下の原因になります。
- 取扱説明書に記載されているブラケット取付け数量と取付けの位置は必ずお守りください。本体が落下する恐れがあります。

お手入れ方法

シャープスタイルの場合

※以下の位置にあらかじめペンで印を付けておくと、後で幕体の取付けがしやすくなります。
その際、幕体をペンで汚さないようにご注意ください。

- 昇降コード･･･コードアジャスタ上端部の位置。
シェイパーテープ･･･コードアジャスタを取付けている位置や、シャープリングを取付けている位置。

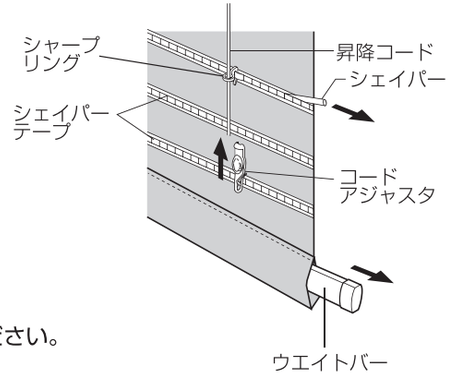
❶幕体を降ろしてください。

❷コードアジャスタから昇降コードをほどいて、コードアジャスタ、シャープリングをシェイパーテープから取外してください。

※コードアジャスタ、シャープリングはなくさないように保管しておいてください。

❸ウエイトバー、シェイパーを取外してください。

※シェイパーはなくさないように保管しておいてください。



バルーン　スタイルの場合

※昇降コードをコードアジャスタから取外す前に、あらかじめ昇降コードへ（コードアジャスタ上端部の位置に）ペンで印をつけておくと、後で昇降コードを巻く位置の目安となり、取付けしやすくなります。
その際、幕体をペンで汚さないように、ご注意ください。

❶フレームから幕体を取外してください。

❷幕体を降ろしてください。

❸コードアジャスタからウエイトを取外してください。

コードアジャスタから昇降コードをほどいて、コードアジャスタをリングテープから取外してください。

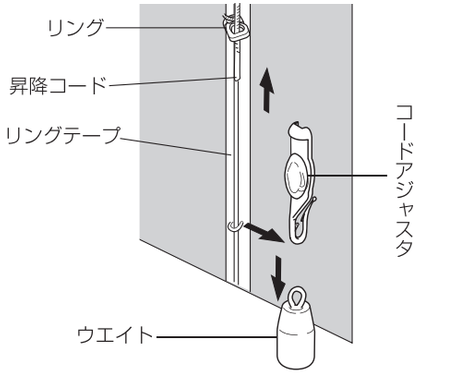
※ウエイト、コードアジャスタはなくさないように保管しておいてください。

❹フレームから幕体を取外してください。

❺リングテープからリングを取外してください。

（P.１０幕体の取外し方法、プレーンスタイルの場合参照）

※リングは無くさないように保管しておいてください。

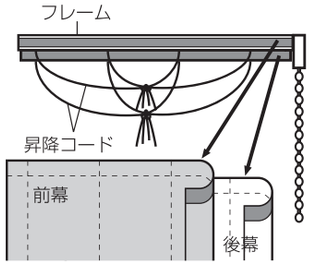


お手入れ方法

幕体のお手入れについて

●幕体裏面の取扱い方法を記載したラベルを確認してください。
●洗濯絵表示ラベルがついている場合は、ラベルの記載内容にしたがってください。
●お手入れ方法ラベルがついている場合は、ラベルの記載内容にしたがってください。

※ヘッドレールから幕体を取外した後、コード類は、絡み、抜けないように必ず束ねて結んでおいてください。



■幕体の取外し方法

プレーンスタイルの場合

※昇降コードをコードアジャスタから取外す前に、あらかじめ昇降コードへ(コードアジャスタ上端部の位置に)ペンで印をつけておくと、後で昇降コードを巻く位置の目安となり、取付けやすくなります。その際、幕体をペンで汚さないようにご注意ください。

❶幕体を降ろしてください。

❷コードアジャスタから昇降コードをほどいて、コードアジャスタをリングテープから取外してください。

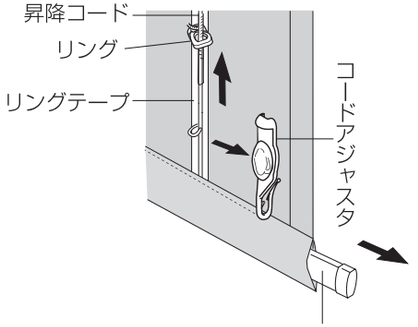
※コードアジャスタは無くさないように保管しておいてください。

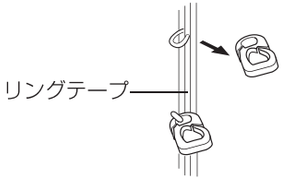
❸ウエイトバーを幕体より取外してください。

❹フレームから幕体を取外してください。

❺リングテープからリングを取外してください。

※リングはなくさないように保管しておいてください。





製品の取付け方法

必要な工具・プラスドライバー ・巻尺（スケール）

1)製品の確認

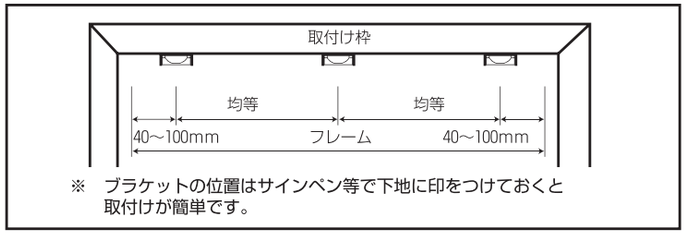
製品の変形、破損、付属部品の不足等が無いことを確認してください。
異常がある場合は取付けできませんのでお買い上げいただいた販売店、最寄りの弊社支店までご連絡ください。

2)取付け下地の確認

・製品に付属しているビスは木部用です。木部以外への取付けには使用しないでください。
・木部に取付ける時には、厚さが１０㎜以上であることを確認してください。
・木部以外の下地に取付ける時は、その下地に応じたビス、アンカー等をご使用ください。
・取付け部が水平になっているか確認してください。

3)取付けブラケットの位置

取付けブラケットは、フレームの左右の端からそれぞれ４０～１００㎜の間に取付けブラケットの中心がくるように位置を決めてください。
取付けブラケットが３個以上の場合はブラケット間の距離が、均等かつ一直線上にくる(正面付けの場合は、ブラケットの高さがそろう)ように位置を決めてください。

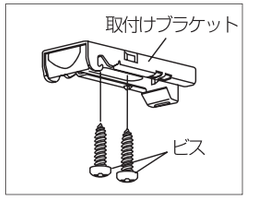


※ ブラケットの位置はサインペン等で下地に印をつけておくと取付けが簡単です。

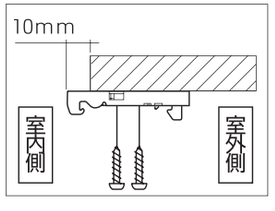
製品の取付け方法

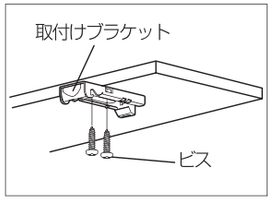
ブラケットの取付け

●天井付け(窓枠内・カーテンボックスに取り付ける場合)
右図のように、付属のビスで取付けブラケットをしっかりと固定してください。



●天井付け
(手前の生地で窓枠を覆う場合)
右図のように、ブラケットを室内側に１０mm程度持出して、付属のビスでしっかりと固定してください。





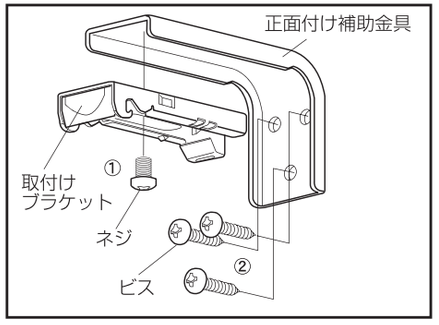
製品の取付け方法

ブラケットの取付け

●正面付け

①取付けブラケットを付属のネジで正面付け補助金具に取付けた後、

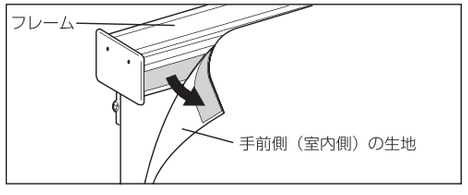
②付属のビスで正面付け補助金具をしっかりと固定してください。



製品の取付け方法

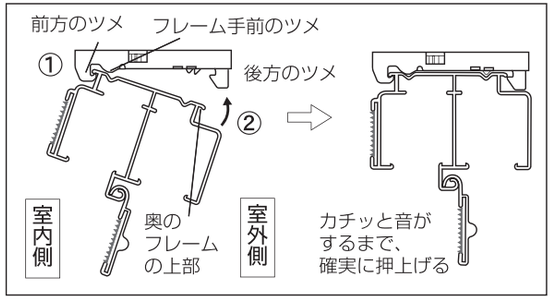
フレームの取付け

生地は2枚ともたたみ上げた状態で、手前側（室内側）の生地と奥側（室外側）の生地をフレームからはがしてください。



①フレームを両手で持ち取付けブラケット前方のツメに、フレーム手前のツメを引っ掛け、左右のバランスを見て位置を決めてください。

②取付け位置が決まったら、フレームを矢印②の方向に持っていきます。取付けブラケット後方のツメに奥のフレームの上部を、カチッと音がするまで確実に押し込んでください。



最後に、はがした生地を奥側の生地からフレームに貼ってください。

※フレームが取付けブラケットに確実に固定されていることを必ず確認してください。

⚠ 注意

生地をはがさずに取付けると、取付けブラケットのツメに生地がはさまってフレームが完全に取付けられず、製品自体が落下するおそれがあります。

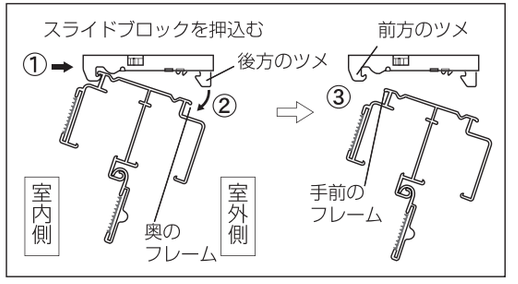
製品の取外し方法

生地を2枚ともたたみ上げた状態で、手前側（室内側）の生地と奥側（室外側）の生地をフレームからはがしてください。

①取付けブラケット前方のスライドブロックを押込み、

②奥のフレームを取付けブラケット後方のツメから外してください。

③手前のフレームを前方のツメから外してください。



⚠ 注意

製品が落下しないように製品全体を両手で支えながら作業をしてください。

操作方法

※奥の生地を操作するときは、手前の生地を上げた状態で行ってください。

手前側（室内側）の生地の昇降

●生地を降ろすとき

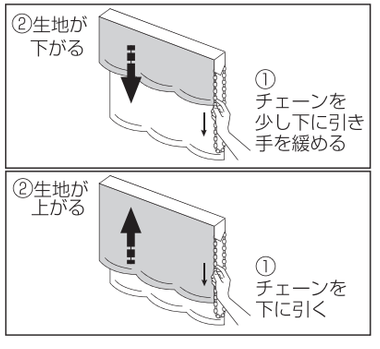
手前側（室内側）のチェーンを少し下に引き、手を緩めると生地がゆっくりと下がります。

途中で止めたい場合は、再び手前側（室内側）のチェーンを少し引くと、生地が止まります。

●生地を上げるとき

手前側（室内側）のチェーンを下に引くと生地が上がります。

手を緩めると、生地が止まります。



奥側（室外側）の生地の昇降

●生地を降ろすとき

奥側（室外側）のチェーンを少し下に引き、手を緩めると生地がゆっくりと下がります。

途中で止めたい場合は、再び奥側（室外側）のチェーンを少し引くと、生地が止まります。

●生地を上げるとき

奥側（室外側）のチェーンを下に引くと生地が上がります。

手を緩めると、生地が止まります。